

## 京都脳神経・脈管超音波研究会 解散趣意書

### 1. 本会の活動について

京都脳神経・脈管超音波研究会は、超音波検査法を用いた、全身とくに中枢神経系やそれと関連した末梢の血管病変に伴う病態解析に基づいた診断・治療法の確立に関する研究、又、基礎的な知識の整理と技術を習得することを目的に、平成13年12月に医師と検査技師の数名で発足致しました。発足以来、平成29年までの16年間で、京都のみならず近畿地方から全国に及ぶ、多くの参加者を得て、合計29回の講演会・ハンズオン講習会を開催することが出来ました。本会は、一般社団法人 日本脳神経超音波学会の後援を得るとともに、認定脳神経超音波検査士や、日本超音波医学会やCVTの認定検査士などのクレジットを得ることができるなど、脳神経・脈管超音波検査領域での付加価値のある研究会として貢献できたのではないかと自負致しております。また他の研究会にはない配布資料の充実、参加者の満足度を得たのではないかと考えております。

### 2. 解散の趣旨と御礼

代表世話人のみならず、長期にわたり事務局を担当して実質的な会の活動を支えてくれた幹事の鮎川宏之氏などの中心メンバーが京都を離れ、更には今後も共催して頂く予定であった第一三共株式会社の共催辞退の依頼を受け、第35回運営委員会で頂いた運営委員の方々の意見を参考に検討した結果、今後の会の継続は困難と判断しました。

以上により、今回の第30回京都脳神経・脈管超音波研究会（開催日：平成31年1月12日）をもってセミナー開催を終了し、本研究会を解散させて頂く所存であります。

末筆になりましたが、これまでご講演頂いた講師の先生方、ハンズオンセミナーなどご協力いただいた検査技師の方々をはじめ、ご参加頂いた多くの方々、また会運営に当たっての人的・資金的な支援を賜った、大塚製薬株式会社、(旧)第一製薬株式会社、旧サノフィ・アベンティス株式会社、第一三共株式会社など共催企業の方々に、この場を借りて深甚なる謝意を表する次第であります。

この趣意書は、平成30年10月31日の京都脳神経・脈管超音波研究会の臨時運営委員会で承諾されましたことを報告いたします。

なお、末筆になりますが、長年にわたり後援いただいた貴学会の役員ならびに会員のご一同様、中でもハンズオンセミナーのクレジットの認定を頂いていた資格認定委員会の委員各位に御礼を申し上げる次第であります。

平成30年11月  
京都脳神経・脈管超音波研究会  
代表世話人 塩貝敏之  
事務局 今川 昇